

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		固定資産評価審査委員会運営費[固定資産評価審査委員会事務]											
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費	事業番号	20		
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの											
担当部署・課長名		文書			課			法規		係		課長名	加藤泰正
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。										施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現										総合計画書 (ページ)	122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	固定資産の評価額に不服があるために行われた審査の申出					審査の申出件数							
	→												
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
	審査の申出に対する公正中立な機関による審査の実施					決定件数/審査の申出件数							
3 経費	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	委員会による審査					審査の申出に対する決定件数							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	件	0	0	0							
	成果指標	②の数値	%	0.0	0.0	0.0							
	目標	②の目標値	%			100		100	100				
	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 審査の申出があった事案は、すべて委員会による審査を行う。												
3 経費	事業費(実績)		円	87,800	70,700	97,700							
	財源	一般財源	円	87,800	70,700	97,700							
		特定財源	円	0	0	0							
	(うち受益者負担)		円	0	0	0							
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.02	0.01	0.02							
		所要人数(再任用)	人	0.00	0.01	0.00							
職員人件費(再任用以外)		円	165,060	82,440	166,200								
職員人件費(再任用)		円	0	38,920	0								
事業費+人件費		円	252,860	192,060	263,900								
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 当市の審査の申出は実例が乏しいため、必要があれば、他市の審査の申出案件について情報収集を行う必要がある。												
	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 他市の事例についての情報を収集し、手続に関する理解を深める。												
5 今後の方向性													

※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。
 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円
 時間単価は、4,300円
 で計算してください。
 【算出根拠】平成30年度決算数値。
 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)